国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

資料配布の場所
1．国土交通記者会
2．国土交通省建設専門紙記者会
3．国土交通省交通運輸記者会
4．筑波研究学園都市記者会
令和８年 11 月 16 日同時配布

国総研
NILIM National Institute for Land and Infrastructure Management

令和８年 11 月 16 日
国土技術政策総合研究所

インフラ分野の GHG 排出量算定(Scope3)に用いる「データ連携キー」の公開について

国総研は、インフラ分野での GX 促進に向け、GHG(Greenhouse Gas 温室効果ガス)排出削減効果を定量的に評価する GHG 排出量算定(Scope3)の負担軽減のため、「データ連携キー」を考案し、令和 10 年度までの実証調査の一環として、令和 8 年 12 月から試行的に公開します。

国総研は、インフラ分野の施工段階に「標準的な技術・工法(ベースライン)により建設現場で発生する GHG 排出量算定(Scope3)」等に用いる「物価調査方式原単位」※1「データ連携キー」を考案しました。「物価調査方式原単位」は、「産業連関法原単位」(金額ベース)と「物価調査の物価」の積により GHG 排出原単位※2(物量ベース)を作成するもので、「データ連携キー」は「産業連関法原単位」(金額ベース)と「物価調査の物価」を紐付けた「産業連関表コード 7 桁」のことです。「データ連携キー」を用いることで、物価調査の規格毎の「物価調査方式原単位」を、物価調査の固有単位(数量)毎に自動生成し、算定の自動化を実現します。

ここで「データ連携キー」は、インベントリ作成などで従来行われている GHG 排出量算定(産業連関法)の際にも用いることができる汎用性の高い考案であることから、この度、関係機関の協力を得て実証調査を行うこととしました。

※「物価調査方式原単位」等の妥当性については SuMPO※3 による第三者検証で確認し公表済みです※1,4。
「データ連携キー」は第三者検証とは別に、「産業連関表 部門分類コード表」(総務省)の 7 桁(分類コード・行部門)を用いています。

ここまで、物価調査を担う財団※5 等と国総研は、「物価資料※6 の品目(帯名称・表名称)」と「産業連関表コード 7 桁」を紐付けた「データ連携キー」を研究開発しました。SSBJ 対応等で GHG 排出量算定は益々重要性を増していますが、GHG 排出量算定(Scope3)の際に一番大変な作業であった「品目毎に一つ一つ原単位を調査・選択すること」が不要となり、単位換算も不要であることから、GHG 排出量の自動算定の実現に向けた基礎的技術の 1 つになることや、GHG 排出量算定作業の迅速化・負担軽減が期待できます。

※1 令和 8 年 6 月 5 日記者発表：「物価調査方式原単位」の「方式」「物価資料」の第三者検証の完了
https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/html/kisya20260605.htm
※2 排出原単位：材料等の単位当たり温室効果ガス排出量
※3 SuMPO：一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO：さんぽ)
※4 令和 8 年 9 月 4 日記者発表：「GHG 排出量算定マニュアル」等の第三者検証の完了
https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/html/kisya20260904.htm
※5 一般財団法人 経済調査会、一般財団法人 建設物価調査会
※6 積算資料(一般財団法人経済調査会)，建設物価(一般財団法人建設物価調査会)

詳しくは、以下の国総研ホームページをご覧ください。
https://www.nilim.go.jp/lab/pcg/result.html

(問合せ先)
国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター 建設経済・環境研究室
室長 富田 興二 主任研究官 原野 崇 主任研究官 合谷 龍馬
TEL 029-864-0932
問合せフォーム https://forms.cloud.microsoft/r/UVFYJaevRK

実証調査：「物価」と「GHG排出原単位」との「産業連関表コード7桁」による紐付け・データ連携

(※GHG：Greenhouse Gas 温室効果ガス)

「データ連携キー」：「物価」に「産業連関表コード7桁」を紐付け➡「GHG排出原単位」とのデータ連携とGHG排出量算定が自動化

積算書内訳の資材の「物価」と「産業連関表コード7桁」を紐付け

資材名称	資材の使用量(物量)	物価雑誌の物価データ	データ連携キー(共通コード) 産業連関表コード７桁
ガソリン	△△L	○○円/L	2111-011 ガソリン
軽油	△△L	○○円/L	2111-014 軽油
生コンクリート	△△m^3	○○円/m^3	2521-021 生コンクリート
コンクリート積ブロック	△△m^2	○○円/m^2	2521-031 セメント製品
鉄筋コンクリートU形	△△個	○○円/個	2521-031 セメント製品
ヒューム管	△△本	○○円/本	2521-031 セメント製品
鉄筋金網	△△m^2	○○円/m^2	2899-099 その他の金属製品
鋼製グレーチング	△△組	○○円/組	2899-099 その他の金属製品

紐付け

データ連携

「3EID」(GHG排出原単位)は「産業連関表部門別」の値

データ連携キー(共通コード) 産業連関表コード７桁	GHG排出原単位：産業連関法による環境負荷原単位データベース(国環研3EID)
2111-011 ガソリン	●●t-CO_2eq/百万円
2111-014 軽油	●●t-CO_2eq/百万円
2521-021 生コンクリート	●●t-CO_2eq/百万円
2521-031 セメント製品	●●t-CO_2eq/百万円
2899-099 その他の金属製品	●●t-CO_2eq/百万円

データ連携で、大幅に負担軽減・迅速化！
「GHG排出量算定(Scope3)」の工数が15.0人日かかった算定も、0.3人日に。(国総研調べ)



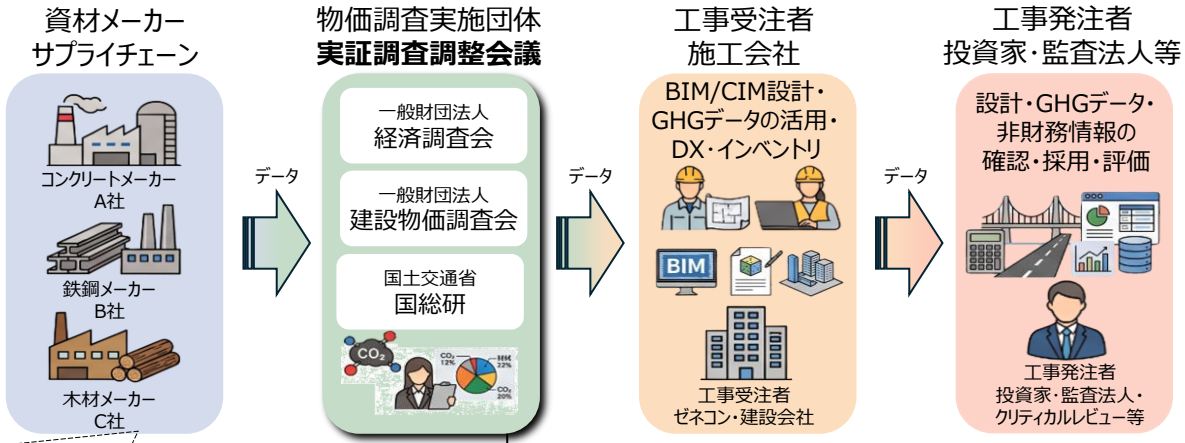
「活動量(使用量)」と「原単位(3EID×単価)」により、「GHG排出量」を自動算定(産業連関法)

資材名称	産業連関法による環境負荷原単位データベース(3EID)		物価調査に基づく設計単価		使用量(数量)		GHG排出量
ガソリン	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/L	×	△△L	=	■■t-CO_2eq
軽油	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/L	×	△△L	=	■■t-CO_2eq
生コンクリート	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/m^3	×	△△m^3	=	■■t-CO_2eq
コンクリート積ブロック	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/m^2	×	△△m^2	=	■■t-CO_2eq
鉄筋コンクリートU形	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/個	×	△△個	=	■■t-CO_2eq
ヒューム管	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/本	×	△△本	=	■■t-CO_2eq
鉄筋金網	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/m^2	×	△△m^2	=	■■t-CO_2eq
鋼製グレーチング	●●t-CO_2eq/百万円	×	○○円/組	×	△△組	=	■■t-CO_2eq

※：データ連携と**赤文字の計算**等は、EXCEL等の一般的な表計算ソフトにより自動計算可能

実証調査調整会議(経済調査会・建設物価調査会・国総研)により「データ連携キー(共通コード)」を整備・更新・公開(試行)

- 「積算資料」「建設物価」は約６万規格(×各地域)、その他の刊行物も数千規格掲載されている。資材の物価データが網羅的にカバーされている。
- 「実証調査調整会議」(積算資料を出版する「一般財団法人 経済調査会」と、建設物価を出版する「一般財団法人 建設物価調査会」と、建設分野のGHG排出量の算定方法を研究開発する「国土技術政策総合研究所 建設経済・環境研究室」)が、「データ連携キー(共通コード)」を整備・更新・公開(試行)する。「物価」と「原単位」の紐付けは、「データ連携キー(共通コード)」が無く、これまで自然言語処理だったことから、GHG算定(Scope3)で一番大変な作業。国総研がデータ連携を試行した例では、工数が15.0人日かかった算定も0.3人日へ、大幅な負担軽減・迅速化を確認。
- 「データ連携」により、「GHG排出量算定(Scope3)」の莫大な作業負担を大幅に軽減するとともに迅速化し、建設分野のTFP全要素生産性の向上を期待している。



将来的に供給段階から「資材の物価」の属性情報の1つとして「産業連関表コード７桁」が紐付けされるようになれば、全産業がGHG排出量を自動算定できて便利

「積算資料」のデータ連携キー紐付け(イメージ)

表名称	産業連関表コード	産業連関表部門名
異形棒鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
ねじ節鉄筋	2621-011	熱間圧延鋼材
異形棒鋼エポキシ樹脂塗装	2899-099	その他の金属製品
丸鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
一般構造用棒鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
….	XXXX-XXX	….

「建設物価」のデータ連携キー紐付け(イメージ)

帯名称	産業連関表コード	産業連関表部門名
異形棒鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
一般構造用丸鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
鉄筋用小形丸鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
機械式継手	2899-099	その他の金属製品
平鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
広幅平鋼	2621-011	熱間圧延鋼材
….	XXXX-XXX	….